

アーケイオン土壌改良剤を散布した いちご（もういっこ）の成長過程



東日本大震災の津波の被害直後の写真

宮城県亘理町（平成23年4月22日とうほく報知新聞掲載写真）

（土壌が津波で塩水に浸かってしまった為、20cm土壌を削り苺の作付けをしました。）



（左側写真：アーケイオン土壌改良剤散布後作付）
アーケイオン土壌改良剤30倍に薄め散布

（右側写真：散布なし）

（平成23年11月24日撮影）



（平成23年12月8日撮影）

いちご（もういっこ）の葉がとても濃い緑色で、艶が出ているのがわかります。

葉の先端や額に丸い水滴が確認でき、とても瑞々しく感じとれます。

津波の被害で塩水にいちご畑は浸水しましたが、今年、平成23年のクリスマスにはいちごが収穫できそうです。

アーケイオン土壌改良剤を散布したいちご（もういっこ）の成長



(平成23年12月8日 AM9:30撮影)